

日中対照言語学会会報 (No.46)

2019年1月29日(火)発行 会報担当:加藤晴子 続三義

目次

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2018年12月23日)議事録
2. 日中対照言語学会第39回大会(2018年度冬季大会)の報告
3. 月例会(2018年11月)

※ 事務局より

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2018年12月23日)議事録

日 時: 2018年12月23日(日) 12:10~13:10

場 所: 大阪産業大学梅田サテライト(大阪駅前第三ビル19階)

出席者: 加藤晴子、続三義、彭飛、王学群、竹島毅、下地早智子、張黎、平山邦彦、丸尾誠、安本真弓、余維、藤田昌志、椿正美、岡原嗣春、高橋弥守彦、白石裕一(敬称略)

【審議事項】

① 次期学会の執行部について

続副会長より、学会の日本学術協議会の協力学術研究団体として指定されたことにより、これからの執行部選出の改革が必要になってくることを受け、2019年度内に次期執行部の選出を目指し、スケジュールを組む必要があることが提案され、承認された。具体案については、2019年5月の学会の春大会の会員総会に諮ることで意見が一致した。

② 第41回大会(2019年度春季大会)について

5月19日(日)に明海大学で開催することが決定した。発表者募集に関しては、巻末の「事務局より」をご参照ください。

【報告事項】

① 学会誌第21号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

平山邦彦査読委員長より、投稿は締め切ったが、今年度の投稿数は昨年度より多い計29本であり、現在、査読の段階であることが報告された。

② 学会誌投稿規程の改定に関して

続副会長より、時代の需要に応じて、学会誌投稿の規程についても修正が必要になってきたことが報告され、具体的な文言の修正も含めた改訂案を2019年度春大会の会員総会に諮ることが了承された。

③ 2018年度の会員数の確認

白石裕一会計係より、今年度の会費納入状況と新入会員の数が報告された。今年度の会費納入は順調に進み、145名の会員からの納入があった(在籍会員数は266名)。新入会員は今年度も順調に増え、12月20日までに34名(一般9名、院生25名)を数える。

④ 学会誌の送付

竹島常務理事より、会費納入者、著者、および国立国語研究所、北京日本学研究中心など、計 186 冊を送付したことが報告された。

2. 日中対照言語学会第 40 回大会（2018 年度冬季大会）の報告

日中対照言語学会第 40 回大会（2018 年度冬季大会）は予定通り 2018 年 12 月 23 日（日）、大阪産業大学梅田サテライト（大阪駅前第三ビル 19 階）で開催された。クリスマス・イブの前日ということもあって、あまり集まらないのではないかという予想に反し、全国からの会員、他学会からの方々を含め、60 名もの来場者があり、本学会特有のさわやかな雰囲気の中、研究発表と講演及び討論が行われた。

3. 月例会（2018 年 11 月）

日 時： 2018 年 11 月 17 日（土）17：00～19：00

場 所： 大東文化会館 4 階 404 室

発表者： 小路口ゆみ（YM 語学教室）

テーマ： 『老残遊記』における“把”構文について

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入は、大会開催時に受け付けております。都合により出席されない会員様には会報送付の際に請求書を同封させていただきますので、納入賜りますようお願い申し上げます。
- 4) 第 41 回大会（2019 年度春季大会）発表者募集について
2019 年 5 月 19 日（日）に明海大学で開催される第 41 回大会の発表希望者は 2019 年 3 月 10 日（日）までにテーマと要旨（500 字前後）を続三義（xu_sanyi@toyo.jp）、王学群（ohgakubun@toyo.jp）のいずれかまでお申し込みください。

